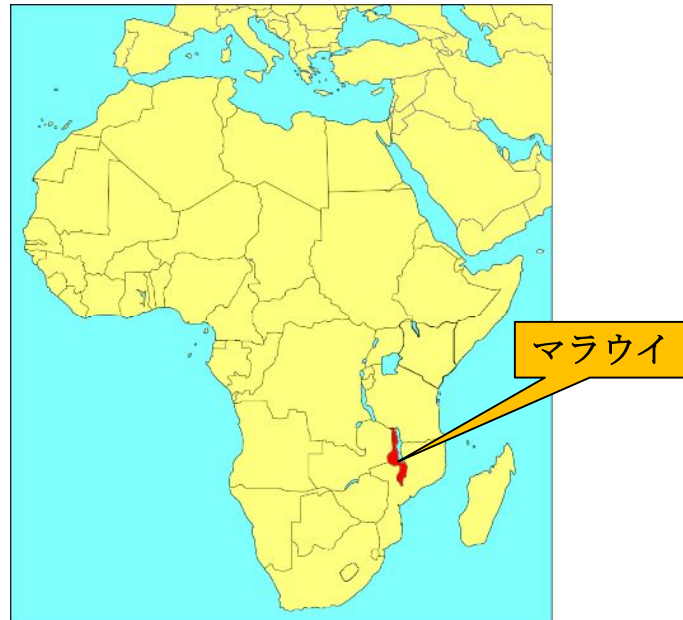


# マラウイ：空港における黄熱の検疫



マラウイでは、3月中旬頃から首都リロングウェの空港において入国審査の前に黄熱の検疫を行っています。

以下の国からマラウイに入国する際、黄熱ワクチン証明書(イエローカード)を持っていないと、検疫官に別途事情を説明する必要が生じ、入国に多大な時間を要するとともに、入国後に予防接種の実施を求められることとなります。

マラウイへ感染リスク国を経由して入国する場合は、黄熱の予防接種をした上で、黄熱ワクチン証明書を必ず携行してください。

## ○マラウイ政府が指定する黄熱感染リスク国

### (アフリカ地域)

アンゴラ、ウガンダ、エチオピア、カメルーン、ガーナ、ガボン、ガンビア、ギニア、アビサウ、ケニア、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国(旧ザイール)、コートジボワール、サントメ・プリンシペ、シエラレオネ、スーダン、セネガル、赤道ギニア、ソマリア、タンザニア、中央アフリカ、チャド、トーゴ、ナイジェリア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、マリ、リベリア、ルワンダ、モーリタニア

### (中南米地域)

アルゼンチン、エクアドル、ガイアナ、コロンビア、スリナム、パナマ、フランス領ギアナ、ブラジル、ペルー、ベネズエラ、ボリビア、トリニダード・トバゴ、パラグアイ